

平成28年度の主な取り組み

新緑が目まぶしい季節となりました。

日頃から当園の運営に関しまして、保護者をはじめ地域や関係機関の皆様にはご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

また、先に実施いたしました「お花見会」では、皆様方のご協力により、多くの方々に楽しんでいただくことができました。重ねて御礼申し上げます。

さて、当園では、昭和18年の設立以来、「利用者本位の支援」を念頭に置き、一人ひとりの状況に応じたサービスの提供に努めてまいりました。今年度も、より一層「利用者本位の支援」を徹底していくために「平成28年度事業計画」を定めました。ここで、その主な取り組みをご紹介します。

1 利用者本位の支援を徹底します。

利用者の皆様の高齢化・障害の重度化や行動障害を有する方々に対して適切に対応するため、医師、看護師、心理職、理学療法士及び栄養士等の専門的な意見を反映させた個別支援計画を策定し、利用者一人ひとりの状況に応じたきめ細かい利用者本位の支援を徹底します。

2 地域生活への移行を推進します。

地域移行を希望する方に対しては、希望する施設等の情報提供をはじめとして施設見学や体験入寮を実施し、保護者及び関係機関等と連携して地域生活への移行を積極的に推進します。

3 職員の資質向上に努めます。

良質なサービスを継続的に提供していくため、各種研修を実施するなど職員の資質向上に努めます。特に、若手職員に対しては、園独自の「OJTチューター制度」を活用して育成に努めるとともに、全職員を対象に「支援姿勢・方法等のセルフチェック」を実施し利用者の権利擁護を推進します。

なお、前記のほか、夜間緊急時に備えた「あんしん夜勤制度」や事故等の未然防止を図るリスクマネジメントなどの取り組みを行います。これらの取り組みを確実に実施することにより、利用者の権利擁護と真の利用者本位の支援が可能になると考えています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

東京都千葉福祉園長 吉富 哲郎